

学校だより

第15号

椎の木



令和4年11月11日発行

流山市立東部中学校
生徒数 554名

すべての生徒会活動の中心が1・2年生に引き継がれました

先日行われた東葛駅伝大会では、たくさんの応援ありがとうございました。また、交通規制など、この地区のすべての方々のご協力で3年ぶりの東葛飾駅伝競大会が無事に終了しました。

東部中学校は73チーム中の28位ということで、生徒たちは頑張ったと思います。様々な部活動から集まってきた選手たちが夏からの短い間でチームワークを育み、苦しい練習にも耐えて、この日のために頑張って練習に取り組んでくれました。

当日のレース展開では、9区終了時点での繰り上げスタートなども行われたようですが、東部中チームは1区から10区まで東部中伝統の襷をしっかりとつないでくれました。

文化面でも先日の椎木祭で文化部の活動の節目となり、3年生から1・2年生に活動の中心が引き継がれました。さらに生徒会本部をはじめ、全校の委員会活動の中心も2年生へと引き継がれました。開校以来、脈々と続いてきた様々な活動を次の世代へとつないでいくことは大変なことではあると思いますが、生徒たちの成長にもつながっていくものだと思います。良いものは残し、改善すべきものはしっかりと話し合って、その時代に合わせたものにしていくと良いと考えています。

次の世代が東部中にどんな文化を残してくれるか、楽しみにしたいと思います。

さらに、椎木祭後半では合唱コンクールが行われました。当日も話しましたが、今年の合唱は3年ぶりのコンクール形式ということで、3年生ですら、今までコンクールを経験することなく、過ごしてきました。7月にはそれぞれの学級が曲選びを行い、体育祭終了から本格的に練習に取り組んでくれました。その成果は、「見事」でした。どのクラスもよくどこまで仕上げてきたかと感動しました。学級の仲間で何か一つのものを協力して創りあげるといことは、とても価値のあるものだと思います。賞はつきますが、それ以上に取り組んできた過程に大きな価値があると思っています。講師の先生もおっしゃっていましたが、歌が好きな人もいれば嫌いな人もいます。それをまとめる歌声班、夏から練習を重ねてきた音取りの人や伴奏者。そして、いい歌にするためにリズムをとり、表現する指揮者など、それぞれが本当によく頑張ったと思います。

審査では、講師の先生が頭をかかえていました。どのクラスも優劣がつけがたく、細かく見れば見るほど審査に迷いが出て、本当に審査員泣かせなコンクールになりました。それだけ生徒の皆さんが細部に至るまでしっかりと仕上げてきたのだと改めて感じました。そして、1年→2年→3年と本当にうまくなっているなども感じました。

コロナ禍での合唱コンクールは年度初めから開催できるかどうか、不安な面も大きかった行事ですが、開催できて良かった、開催して本当に良かったと心から思える一日になりました。すばらしい曲を創りあげてくれた生徒の皆さんに「ありがとう」と言いたいと思います。

【椎木祭を終えて】

運動系の部活動が夏の大会で節目を迎えるのに対して、文化部は椎木祭まで3年生が活動を継続し、3年間の活動の成果を全校に発表してくれます。各部とも工夫を凝らし、すばらしい発表を見せてくれました。

3年間の節目を迎えた各部の部長さんに椎木祭を終えた感想を聞いてみました。

【吹奏楽部 部長 宮澤 綸さん】

私たち吹奏楽部は東関東大会を目標にコンクールまで活動してきました。しかし本選出場はかなわず、悔しい思いをしました。それでも部員全員で気持ちを切り替え、椎木祭まで走り抜けることができました。

本番では、皆さんの盛り上げ、保護者の方からの応援、先生方のご協力もあり、大成功と言える形で終えることができました。部員総勢36名でこの1年間全力で演奏を続けることができて良かったです。今まで応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。これからのRBB（＝流東ブラスバンド）にも是非ご期待下さい！！

【美術部 部長 杉野 花奏さん】

私たち美術部で、去年の椎木祭見た人はほとんどいませんでした。その中で、自分たちは何ができるかを考えていきました。

美術部に協力してくださった皆さんには感謝しかありません。来年からも皆を楽しませられるような絵を描いていってほしいです。3年間、美術部で楽しく絵を描けたので良かったです。

【科学部 部長 秋田 樹希君】

今の3年生は、おそらく部員数が一番多かったと思います。1年生の時は何をすれば良いかわからなかったことがいくつもありました。ただ、自分たちの前の代の2年生がよくわからないところを教えてくださいました。僕たちは、そこで初めて2年生のようになろうと思いがんばりました。

3年間の部活動は本当に楽しく、仲間と一緒に活動できたことは最高でした。そして良い先生との出会いも嬉しかったです。

最後の椎木祭はいろいろ苦勞することもあり、大変でしたが科学部らしい発表ができたと思います。3年間ありがとうございました。

